

地球惑星科学委員会地球惑星科学国際連携分科会

SCAR 小委員会(第 26 期・第4回)

IASC 小委員会(第 26 期・第3回)

議事要旨

1. 日 時 令和7年2月 28 日(金)15:00～16:30

2. 会 場 オンライン会議(ZOOM)

3. 出席状況(名簿順、敬称略、*SCAR・IASC 兼)

出席者(SCAR):中村 卓司*、伊村 智、榎本 浩之*、大野 義一郎、金尾 政紀、
川村 賢二、杉山 慎、高橋 晃周、高橋 邦夫、津川 卓也、中井 直正、
野木 義史、橋田 元、平譚 享、道田 豊

出席者(IASC):内田 雅己、大西 富士夫、川合 美千代、菊地 隆、高倉 浩樹、竹内 望、
檜山 哲哉、深町 康

出席者(オブザーバ):猪上 淳(極地研)、末吉 哲雄(極地研)、田村 岳史(極地研)、
久光 純司(気象庁)、矢吹 裕伯(極地研)

欠席者(SCAR):原田 尚美*、小山内 康人、柴田 明穂

欠席者(IASC):飯島 慈裕、當房 豊、箕輪 昌紘、山口 一、吉森 正和

4. 議 題

冒頭、SCAR 小委員会中村委員長、および IASC 小委員会榎本委員長より挨拶があり、今回の合同小委員会は SCAR 小委員会の中村委員長が議長を務めることとした。続いて議題(1)以下の進行は SCAR 小委員会伊村副委員長が務めた。

(1) 5th International Polar Year (IPY) in 2032-33 への対応について

伊村委員より資料1-1に基づき、前回の IPY (IPY4) の準備経過について報告があった。

榎本委員より資料1-2に基づき、IPY5 コンセプトノートについて報告があった。

末吉オブザーバより資料1-3に基づき、IASC と ASFF での準備状況について報告があった。

金尾委員および中村委員より資料1-4に基づき SCAR での準備状況について報告があった。

平譚委員より資料1-5に基づき、Antarctica InSync について報告があった。

橋田委員より資料1-6および1-7に基づき RINGS について報告があった。

末吉オブザーバおよび菊地委員より、SAS II について報告があった。

菊地委員および榎本委員より、他の北極 IPY5 関連の準備状況について報告があった。

田村オブザーバより資料1-8に基づき、極地研内での準備状況について報告があった。

(2) その他

その他の IPY5 関連の動向について情報交換を行ったのち、伊村委員から、日本の IPY5 事務局を極地研に置くことを想定して準備中である旨発言があり、合同小委員会として承認した。また、今後も今回と同様に合同小委員会として IPY5 に関する準備や議論を進めること、および半年に1回程度の合同会合を開催することが確認された。